

商品名 アルファロールカプセル0.5 μ g 医薬品基本情報

薬効	3112 合成ビタミンD製剤	一般名	アルファカルシドールカプセル
英名	Alfarol	剤型	カプセル
薬価	6.90	規格	0.5 μ g 1カプセル
メーカー	中外製薬	毒劇区分	(劇)

アルファロールカプセル0.5 μ gの効能・効果

(ビタミンD抵抗性クル病、副甲状腺機能低下症、慢性腎不全、ビタミンD抵抗性骨軟化症)の(骨痛、骨病変、テタニー、低カルシウム血症、ビタミンD代謝異常)の改善、骨粗鬆症

アルファロールカプセル0.5 μ gの使用制限等

1. 高リン血症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アルファロールカプセル0.5 μ gの副作用等

1. 血清カルシウム上昇、急性腎障害、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 食欲不振、悪心、嘔気、下痢、便秘、胃痛、AST上昇、ALT上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、腎機能低下、皮膚そう痒感、結膜充血	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
3. 嘔吐、腹部膨満感、胃部不快感、消化不良、口内異和感、口渇、頭痛、頭重、不眠、いらいら感、脱力感、倦怠感、めまい、しびれ感、眠気、記憶力減退、記銘力減退、耳鳴り、老人性難聴、背部痛、肩こり、下肢つっぱり感、胸痛、血圧上昇、動悸、LDH上昇、 γ -GTP上昇、腎結石、発疹、皮膚熱感、関節周囲の石灰化、化骨形成、嚔声、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
4. 血清カルシウム上昇、急性腎障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
5. 高カルシウム血症、胎仔化骨遅延	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

6. 急性毒性

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

アルファロールカプセル0.5μgの相互作用

1. 薬剤名等：マグネシウムを含有する製剤

発現事象	高マグネシウム血症	投与条件	-
理由・原因	腸管でのマグネシウムの吸収を促進	指示	注意

2. 薬剤名等：マグネシウムを含有する製剤

発現事象	アルカローシス、高カルシウム血症、高窒素血症、ミルク・アルカリ症候群	投与条件	-
理由・原因	血中マグネシウムの増加により代謝性アルカローシスが持続するため、尿細管でのカルシウム再吸収が増加	指示	注意

3. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	不整脈	投与条件	-
理由・原因	本剤により高カルシウム血症が発症した場合、ジギタリス製剤の作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：カルシウム製剤

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	本剤は腸管でのカルシウムの吸収を促進	指示	注意

5. 薬剤名等：ビタミンD

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

6. 薬剤名等：ビタミンD誘導体

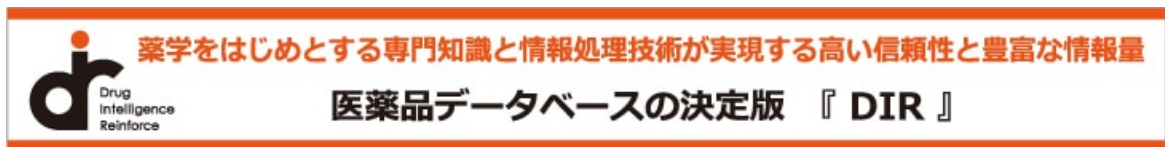
発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

7. 薬剤名等：PTH製剤

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意

8. 薬剤名等：PTHrP製剤

発現事象	高カルシウム血症	投与条件	-
理由・原因	相加作用	指示	注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.